議会報告会　会場報告書

担当班：３班　　班代表者：　　栗山　泰三

概要			
地区名　：西紀南地区 日時　　：令和４年　５月　11 日（水） 19：00～：20：30 場所　　：みなみ・ほっと・サロン 参加人数：８人(男８人・女０人)	【出席議員】 栗山泰三 隅田雅春 足立義則 上田英樹 小畠政行	（１）開会あいさつ　：栗山泰三 （２）議会報告　　：DVD （３）質疑応答　　：下記の通り （４）意見・提言等　：下記の通り （５）閉会あいさつ　：隅田雅春	挨拶・総括　　：栗山泰三 司会進行　　：上田英樹 報告　　：DVD 記録　　：足立義則 ：小畠政行 会場（マイク）　：隅田雅春

【主な質疑】

質疑・意見	回答
・日本農業遺産の予算はどれくらいあるのか。	・日本農業遺産に認定されたことで、国からの予算というものはありません。私の手持ち資料に農林業関係補助制度を行政が一覧で作成したものがありますので、ご一読いただければ幸いです。
・ワクワク農村とあるが、ワクワクするような農村にするため、どれくらいの予	・これから検討していきますので、具体的な予算は付いていません。

算が付いているのか。 ・スマート農業とはなにか。 ・医療対策事業に 2 億 4 千万円ほど予算がついており、本市の医療充実・向上が大事であり、調査研究を進めて良い医療体制が構築されることを期待している。 ・東中学校の予算が減額されている理由はなにか。	・スマート農業とは見た目がおしゃれな農業ではなく、ICT を活用した農業のことを言います。ドローンや自走式の草刈り機などの補助について進めていきます。 ・医療の予算について、全額を調査費に充てているわけではなく、その内 1 千 3 百万円が調査分析委託料となっています。 ・主に雨漏り対策の予算として約 2 億 2 千万円の予算が付いていましたが、1 億 5 千万円で入札されたことで 7 千万円弱の減額になりました。現場確認をしたところ雨漏り状況が予想より軽微でありましたので、大幅な予算減額になりました。
・なぜ市内高校の生徒が定員割れしている原因は。高校活性化の具体的策はあるのか。 ・東中学校についても莫大な予算を計上しているが、20 年くらいしか経過していない。生徒数もどんどん減っていくのではないか。巷ではどこかと合併して校舎は別の施設として活用されるのではという噂も聞かれているが、このあたりはどうなっているのか。	・オープンスクールのプレゼンに問題があるかもしれないということで、改善していくために昨年度から着手し始めました。その成果もあり、直近のプレゼンは市外の高校と比較しても本市の高校のプレゼンが一番良かったと担当者は評価していました。今年の新入生の人数だけ見ると、111 人から 119 人でわずかですが手ごたえを感じているところで、今後もあらゆる方法を模索しながら魅力向上に努めていきます。 ・東中学校が開校したときは 345 人で現在は 85 人となっています。噂は出ているかもしれませんが、そういった議論は全くしていません。 　仮に篠山中学校と合併した場合、城東・多紀地区の方すべて篠山中学校に通うことになると距離もありますし登下校に課題が生じます。また、福住や大芋では移住者が増加したこと

	で多紀小学校の生徒数は増えている状況です。
・おしゃれに輝くワクワクシティクーポン券事業とは、どういった事業なのか詳しく教えてほしい。	・マイナンバーカードの実態として、全国平均で 45％の取得率となっていますが、丹波篠山市は43％です。取得率向上にむけて取得率 85％を目標に掲げて普及啓発を行っています。国の制度として、カードを取得したり、国民健康保険証と連動したり、口座情報を登録すると合計20,000 ポイントが付与されます。 本市独自の事業としては申請書を提出することなく、カード取得者の情報を利用して、3,000 円のクーポン券を自宅に郵送する予定です。 カードの取得申請には窓口に来庁せず、地域に出向いて申請いただけるような手続きも行っています。
・議員定数 18 人が適正であると報告を受けたが、18 人が適正である理由はなにか。18 人と 15 人の違いは何かあるのか。	・人数が多い方が多様な意見や着眼点も多くなるので審査がより深まりますし、決算審査の際は監査委員が外れますので 4 人で審査する必要があり、少人数で審査をするには意見が偏ってしまうことはあります。 また、本市は面積も広く 19 地区もあり、定数 18 人では全地区の意見が十分に吸い上げられないかもしれません。予算規模も230 億円あり、事業も膨大であることからそれに対する審査のボリュームからみても 18 人は最低必要であるという結論になりました。 3 人欠員があることで、委員会審査の時に 1 人分の意見や視点が無いため、各委員も頑

	張っていますが、審査が不十分になっているような、皆様からの信託に十分応えられていないのではないかという不安を感じています。
・本市の人口は 4 万人、これからどんどん人口減少は進んでいく予想をしているが、議員の定数はこのままでという考え方は変わらないのか。	・近隣の同じ人口規模の市町では議員定数は 22～20 人です。本市は議員定数削減が進んでおり、合併以降 26 人から今の 18 人になりました。人口割合でも、18 人は平均的な人数です。
・西紀中学校の大規模改修はどうなっているのか。	・大規模改修については順次実施していますが、市長にもお繋ぎいたします。
・気候非常事態宣言を制定したが、具体的にどういったことをしているのか。 ・宣言しただけでは何も変わらないのではないか。	・広報等にも掲載されていると思いますが、これから対策を計画していくところです。家庭から排出される CO2 は 25％、残りの 75％は企業から排出されています。このことから、市の CO2 排出削減のために市内企業にアプローチをして、各企業がどのような対策をしていただけるのかを、2050 年排出量ゼロに向けてこれから検討いただくようになっています。 ・宣言したら、宣言したことに対する責任が発生しますので、家庭においても出すゴミの量を減らしたりするなどご協力をいただきたいと思っています。
・一部過疎認定について。	・この 25 年間で旧篠山町の人口が基準値 23％に対して、23.1%、財政力指数（自主財源の比率）では、基準値 0.64 に対し 0.449 と低い状況です。人口減少を抑える持続的発展を図る施策が必要です。